


CAGE


MAGI FAN BOOK FOR ADULT ONLY




それならば
良いのです

ええ

そうですね



我々は
真なる民の
共同体なのですから



次こそは
我々の思惑通りに
なるはずです



頼みましたよ
神官殿



一度ならず
二度までも…

今回はどうしたと
いうのですか

ソロモンの知恵を
手に入れた
「マギ」が
預言の力を
発動しました

彼も応戦したのですが
あの「マギ」の
選んだ「王」が「シン」を
撃破した瞬間……

白ルフが空に溢れ、
黒ルフを制圧したという
ことですね

ええ

やはり
「ジン」の練成が
早すぎたのでは？

いえ、
それは致し方
無かったでしょう

マジの回収が
間に合ったのです

我々の計画が
無事遂行されつづけていることに
変わりはありません

ん
.....





何すん

だ

ってーな

お前にはすぐに
職務に戻って
もらわなくてはならない

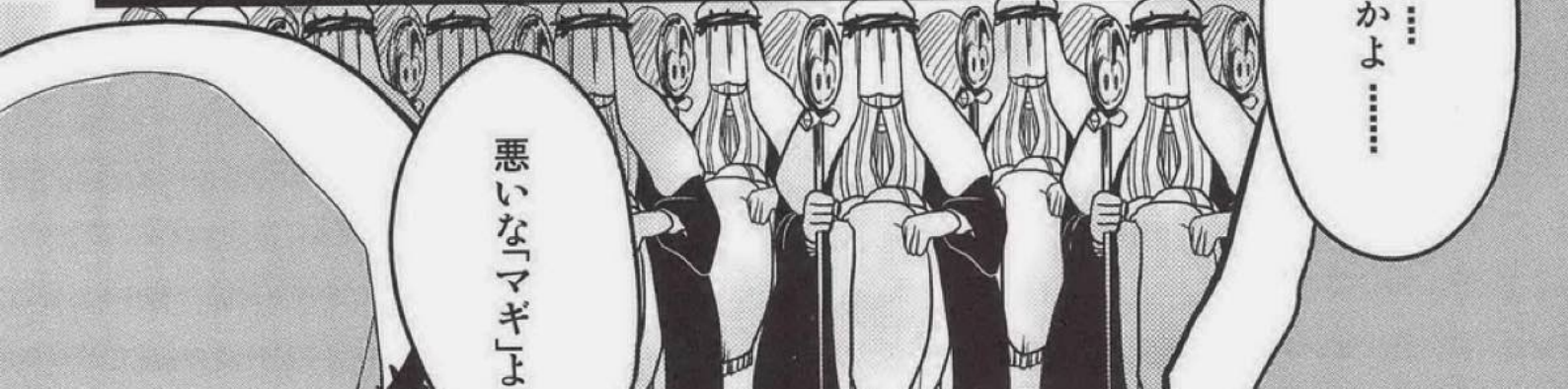


んぐ

んッ



あー…
またかよ……



悪いな「マギ」よ

早く黒ルフを集め
力を戻すがよい

あの「マギ」の選んだ「王」も
今は未熟ながら

やはり厄介な
存在でしたね

ええ

我々が作り出した流れが
あの「王」の行動ひとつに
妨害されている

邪魔ですねえ：

ええ、邪魔ですね

早急に対処した方が
良いでしょうね

いずれかの機会に
消さなければいけない存在で
あることは確かでしょう





これ以上あちらに
力をつけられると厄介です



しかし、
あの第一級特異点の男

なぜあのような男が
存在しているのでしょうか





自分の力で
出現させた迷宮を
攻略した存在は

「マギ」にとって
それほどまでに
特別なのか？

うるせーよ

何度言っても
懲りませんね

ええ、
何度目でしょうか

うっ

うっ

ツ...

高

結局「マギ」というものは
そういう存在
なのかもしれませんね

ええ、
そうなのでしょね

あ……

ああッ

ああ……ッ

マギとは王となる者を選び
導く役目を持つ魔法使い





神官殿の出現させた迷宮を
誰よりも攻略したのは
あの男なのですから
当然のことなのでしよう

自分以外のルフを
使役できるとはいえ
あのような迷宮を
出現させるほどの
魔力を扱うのです

特別な感情が
生まれるのかも
しれません



しかし



あ……ッ

ああ……っ……!





……マギよ



我々の目的は
運命の逆流は

は

お前なら
判っているな

.....フン

判ってるよ



では、そろそろ参りましょう

神官殿

